

寒冷期用の路面補修材開発

低温時でも作業性低下せず

大成ロテック

大成ロテックは、積雪寒冷地域の寒冷期でも作業・散水後30分程度で固化し交通開放ができる「TRミックスアークア（寒冷期用）」

20キログラム/袋を開発した。

同社は、18年に道路のポットホールや段差などを補修する高耐久な路面補修材として、作業・散水後

た。

しかし、積雪寒冷地域の寒冷期など低温時には、開封後に補修材が硬化、あるいは団粒化することで作業性の低下を起すことがあるため、低温時でも作業性が低下することなく適用できる路面補修材の開発を進めてきた。



パッケージ外観

30分で固化し交通開放できる「TRミックスアークア」の販売を開始し、順次全国で展開してき

今回開発したTRミックスアークア（寒冷期用）は、

主材料であるアスファルトと骨材に温度の影響を受けにくい特殊な固化材を添加することにより、低温時であっても既存品と同様に作業・散水後30分で固化し交通開放が可能となった。これまでに、同社の積雪寒冷地域にある施設内で冬季に施工し、作業性や硬化反応、供用後の耐久性などを確認した。今後は、11月の北海道を皮切りに順次、東北、北陸などの積雪寒冷地域を中心に販売を開始する。